

令和6年度

社会福祉法人茅野市社会福祉協議会事業報告

I 総括

少子高齢化や単身世帯の増加、社会的孤立などの影響により、人々が暮らしていくうえで様々な分野の課題が絡み合っただ複雑化するとともに、個人や世帯において複数の分野にまたがる課題を抱えるなど複合化しています。こうした今日的な「地域生活課題」を受け止め、その解決に向けた取組を進めるためのきめ細やかな福祉が強く求められています。

このような中、令和6年度は、誰もが支え合いながら安心して暮らすことができる「ともに生きる豊かな地域社会」の実現に向けて、多くの方々から福祉への理解と参加を得ながら、関係する団体・機関及び茅野市との協働による小地域福祉活動の推進の他、各種日常生活支援・在宅福祉サービスなどの受託事業も数多く担いました。

加えて、「令和6年能登半島地震・豪雨災害」においては、発災後直ちに、被災地の災害ボランティアセンターの運営支援に多くの職員を派遣するとともに、ボランティアバスパックの実施など、1日も早い被災地の復旧・復興に向けて様々なニーズに応じた支援に取り組んできました。今回の支援活動を通じて得られた知識や教訓等は多岐にわたり、社協組織に関わらず、身近な地域、各団体等においても示唆に富むものとなりました。

さらに、本会が新たな時代の要請に応えていくための「茅野市社協中期経営計画」がスタートし、財政基盤の確立と組織基盤の強化を図ることによるイノベティブな経営改革を加速化させました。また、令和7年度に本格実施します「重層的支援体制整備事業」への移行準備、コロナ特例貸付の借受人(世帯)へのていねいなフォローアップ支援、パブリックリレーションズ委員会(通称:PR委員会)の新たな設置、事務局内部門間連携の強化、法人会員や関係機関・団体との連携・協働による施策の具体化等に取り組んできました。

こうした取組をする中でも、多様な「地域生活課題」の解決を支援するためには、福祉分野はもとより、幅広い分野との連携・協働が不可欠であり、地域づくりに関しても、これまで培ってきた地縁型組織を中心とした地域福祉活動等をさらに発展させ、多様性のある地域をめざす必要があります。

そのためには、これまで以上に、より開かれた組織、より多様な人や機関・団体とつながり続ける組織となり、「連携・協働の場」としての機能を発揮するとともに、誰一人取り残さない多様性と包摂性を見据えた地域共生社会の構築に具体的に取り組むことで、「地域住民等」の期待に応えられるよう努めてまいります。

II 令和6年度 事業報告

1 法人・地域福祉推進事業

(1) 法人運営事業

理事会、評議員会等を開催し、事業計画並びに資金収支予算等を定め、決算や監査など本会の基幹的業務を計画的に実施しました。

また、広報紙「やらざあ」やホームページ、Facebookの活用や、新たに、市民活動センター1階に社協専用の掲示板を設置するなど、社協事業のPRやボランティア情報等を積極的に発信して参りました。

令和6年度は茅野市社協が新たな時代の要請に応えるため、本会の将来にわたる自立的かつ安定的な運営が必要であることから、目指すべき方向及び組織基盤、財政基盤を適正化することを目的とした「茅野市社会福祉協議会中期経営計画」をスタートさせ、同計画を踏まえた各事業に取り組んできました。

① 管理運営事業

令和6年度決算	63,350,944円	(前年度比 ▲18,570,456円)
令和5年度決算	81,921,400円	

(ア) 経営委員会・理事会・評議員会等の開催

開催日	会議名	出席数	主な内容
5月27日(月)	経営委員会 (第1回)	7人	第1回理事会提出議案の検討
6月5日(水)	理事会 (第1回)	10人 (監事2人含む)	令和5年度事業報告、決算報告等 8議案
6月10日(月)	評議員選任・ 解任委員会 (第1回)	3人	評議員の選任 1議案
6月20日(木)	評議員会 (第1回)	10人 (理事4人含む)	令和5年度事業報告、決算報告等 3議案
8月1日(木) (※1)	理事会 (第2回)	9人 (※2)	本会積立金の一部振替等 3議案
8月8日(木)	評議員選任・ 解任委員会 (第2回)	3人	評議員の選任 1議案
3月3日(月)	経営委員会 (第2回)	7人	第3回理事会提出議案の検討
3月13日(木)	理事会 (第3回)	10人 (監事1人含む)	令和7年度事業計画、予算等 9議案
3月27日(木)	評議員会 (第2回)	11人 (理事監事5人含む)	令和7年度事業計画、予算等 3議案
3月31日(月) (※1)	理事会 (第4回)	9人 (※2)	本会正規職員の初任給、昇格、昇給等の 関する規則の一部改正 1議案

※1 理事・評議員の書面同意により決議があったものとみなされた日

※2 書面同意のあった理事・評議員数

(イ) 定例監査の実施

5月23日(木)	令和5年度の事業報告及び決算について
----------	--------------------

(ウ) 役員・評議員研修等

開催日	内 容
1月23日(木)	諏訪ブロック社協役員及び職員合同研修会 会 場：駅前交流テラス「すわっちゃオ」(諏訪市) 講演内容：「包括的な支援体制構築に向けた社会福祉協議会の役割とは ーALL社協からALL東海村へー」 講 師：東海村社会福祉協議会 古市 こずえ氏 本会出席者：理事・職員 計7人

(エ) 諸規程等の整備

種別	規程等	改正	施行日
定款	定款	一部改正	令和7年4月1日
	定款施行細則		
規程	正規職員の給与等に関する規程 嘱託職員の給与等に関する規程	一部改正	令和6年6月1日
	表彰規程	一部改正	令和6年8月1日
	指定就労継続支援B型に係る事業運営規程	一部改正	令和6年9月1日
	日中一時支援事業運営規程		
	指定訪問介護支援の事業運営規程		
	指定居宅介護支援の事業運営規程		
	指定通所介護支援の事業運営規程		
	慶弔規程	一部改正	令和6年10月1日
	文書取扱規程		
	経理規程		
	評議員選任・解任委員会運営規程		
	苦情解決に関する規程		
	コンピュータ情報システムの運用管理に関する規程	一部改正	令和6年11月30日
	正規職員の給与等に関する規程 嘱託職員の給与等に関する規程		
	日給職員の給与等に関する規程		
経理規程 正規職員の給与等に関する規程 嘱託職員の給与等に関する規程 日給職員の給与等に関する規程 時給職員の給与等に関する規程 積立金規程 指定居宅介護等の事業運営規程	一部改正	令和7年4月1日	

規則	正規職員就業規則	一部改正	令和6年8月1日
	嘱託職員就業規則	一部改正	令和6年12月1日
	日給職員就業規則		
	育児・介護休業等に関する規則	一部改正	令和7年4月1日
正規職員の初任給、昇格、昇給等に関する規則			
要綱	ひとり暮らし安心コール事業実施要綱	一部改正	令和6年4月1日
	移送サービス事業実施要綱	一部改正	令和6年10月1日
	シャララ・ほっとサービス事業実施要綱	一部改正	令和7年4月1日
	ボランティア・市民活動助成金交付要綱		
方針 指針 他	ハラスメント防止措置に関する基本方針	制定	令和6年11月1日
	障害福祉サービス事業所及び介護サービス事業所 ハラスメント防止対策に関する指針		
	シャララ・ほっとサービス事業に関する自家用自動車使用取扱細則	一部改正	令和7年4月1日
	シャララ・ほっとサービス事業実施要綱第11条(サービス費用等)の取扱い(内規)		

(オ) 職員採用

業務が円滑に執行できるよう年間を通して職員募集を行っています。職員が充足しない状況にあることから、ハローワーク以外の媒体を活用した職員募集も行いました。

応募等の状況

応募者数	14人
採用者数	9人
不採用者数	3人
採用辞退者数	2人

(カ) 職員研修

職員の成長と組織の発展につなげるため、目指すべき職員像や組織的な取組の方策など基本的な考え方を明示した「茅野市社協人材育成基本指針」に基づき、職員研修を実施しています。

長野県社協福祉人材センター福祉職員生涯研修を活用し、職層に応じた研修に加え、職員が西部デイサービス等の事業所業務を体験する職場内研修を実施しました。

また、職員のスキル向上を図るため、職員の資格取得支援制度を活用した資格取得の促進、業務に関係する専門的な研修に参加し、研修終了後の振り返りや職場内への伝達・報告を通じ、組織力の向上につなげました。

研修参加状況

参加研修数	45件
参加職員数(延べ)	158人

職員の資格取得支援制度の利用状況

<ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員(2名) ・サービス管理責任者(1名)
--

(キ)社協中期経営計画の進行・管理

令和5年度（令和6年3月）に策定した「茅野市社協中期経営計画」が令和6年度にスタートしました。社協の持続可能な経営のため、職員の目的やコストに対する意識向上を図り、事業実施により得られた実績及び成果や限られた資源（ヒト・モノ・カネ・情報）を効率的、効果的に投入し、事務事業を進めてまいりました。

令和6年度は、事業実施により得られた実績及び成果や投入した費用・人的資源（人工）、取組の課題を踏まえ、事業の格付けを行う「総合評価」と次年度の事業計画・予算に反映させるための「次年度の成果とコストの方向性」により評価を実施しました。

○事務事業評価の結果状況 事務事業評価実施件数 82事務・事業

○事務事業評価の結果状況

格付	評価の定義	件数
A	計画通りに事業を進める	34
B	事業の実施方法やコストの投入等について改善を要する	44
C	事業の休止・廃止を検討する	1
評価対象外	広域的事業や令和4年度に実施した事業の棚卸結果を受け統合した事業	3

○次年度の成果とコストの方向性

成果の方向性	拡充				1	36	2
	現状維持				1	35	
	縮小						
	休廃止			3			
	見直し		2				
	対象外	2					
		対象外	見直し	皆減	縮小	現状維持	拡大
コスト（費用又は人的資源）と投入の方向性							

(ク)社協会費の収納

社協活動への理解と参加を促進するため、住民会員制度をとり、社協活動に理解・賛同いただくなかで、社協会費を納めていただいています。

世帯（個人）の社協会員会費は、区・自治会の協力により、広く市民から納めていただいています。会員数（会費収入）は、減少傾向であります。

ホームページ、広報紙「やらざあ」により社協活動を理解・賛同いただくよう積極的に情報発信をして会員数の増加に努めています。

社協会員種別・会費

世帯（個人）の会員			法人会員
普通会員	賛助会員	特別会員	
1,000円	2,000円	3,000円以上	3,000円以上

社協会員・会費実績

			令和4年度	令和5年度	令和6年度
世帯 (個人) の会員	普通会員 (1円~1,999円)	会員数	7,294世帯	6,965世帯	6,980世帯
		会費	7,185,204円	6,861,777円	6,896,275円
	賛助会員 (2,000円~2,999円)	会員数	279世帯	272世帯	266世帯
		会費	558,000円	546,010円	532,200円
	特別会員 (3,000円以上)	会員数	169世帯	156世帯	152世帯
		会費	564,000円	517,000円	508,000円
	合計	会員数	7,742世帯	7,393世帯	7,398世帯
		会費	8,307,204円	7,924,787円	7,936,475円
法人会員 (3,000円以上)		会員数	118団体	145団体	156団体
		会費	586,330円	706,000円	752,000円
会費合計			8,893,534円	8,630,787円	8,688,475円

世帯(個人)の会員の地区別実績

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	会員数 (世帯)	会費 (円)	会員数 (世帯)	会費 (円)	会員数 (世帯)	会費 (円)
ちの	1,381	1,542,722	1,253	1,403,723	1,284	1,441,552
宮川	1,463	1,587,030	1,342	1,467,863	1,330	1,461,241
米沢	443	473,900	430	463,270	402	438,600
豊平	897	933,900	932	954,020	946	972,550
玉川	1,588	1,637,820	1,553	1,613,419	1,499	1,560,372
泉野	344	361,132	350	363,611	335	347,510
金沢	467	506,250	453	486,800	461	500,100
湖東	413	440,950	363	390,581	382	402,950
北山	502	537,000	498	523,000	544	564,100
中大塩	244	286,500	217	251,500	214	244,500
地区外	0	0	2	7,000	1	3,000
合計	7,742	8,307,204	7,393	7,924,787	7,398	7,936,475

(ケ) 寄附の受付

寄附金や遺志金、寄附物品を受付、寄附の記録を行い適正に管理しました。

寄附の実績

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)
寄附金	32	17,006,567	42	1,547,172	33	2,573,774
遺志金	9	740,000	4	1,470,050	1	300,000
寄贈(※1)	1	1,600,000	0	0	0	0
その他の寄附(※2)	67	—	54	—	86	—
合計	109	19,346,576	100	3,017,222	120	2,873,774

(※1) 会計処理が必要な 100,000 円以上の寄贈品の相当額

(※2) 食料品、清拭布、紙おむつ、生理用品等の寄附

(ウ) 税額控除対象法人証明の申請

租税特別措置法に規定する個人寄附者に対する所得税の税制優遇措置として「税額控除制度」が、茅野市社協への寄附金・社協会費にも適用されるよう、税額控除対象法人の証明を所管庁である茅野市から受けています。

税額控除制度は、小口寄附の寄附者への減税効果が高く、新たな寄附者やこれまで以上に多くの寄附金を支出する寄附者が増えることが期待されます。

- ・ 証明書交付日：令和 5 年 2 月 1 日
- ・ 有効期間：令和 5 年 2 月 1 日～令和 10 年 1 月 30 日
- ・ 控除額の計算：(税額控除対象寄附金－2,000 円) × 40%

② 広報・啓発事業

令和 6 年度決算	962,073 円	(前年度比 ▲484,968 円)
令和 5 年度決算	1,447,041 円	

(ア) 広報紙の発行

広報紙「やらざあ」の年 6 回の定期発行を通じ、社協活動や地域福祉活動の情報発信を行いました。令和 6 年度から新たに「パブリックリレーションズ委員会(PR委員会)を設置して、市民に伝わりやすい紙面となるよう掲載情報を検討し、発行しております。

令和 6 年度は、出前福祉教室の実施内容を「がっこう×^{カケル}ふくし」として、広報紙「やらざあ」に毎号特集記事を掲載しました。

号	特集記事・主な内容
4月号	社協からの情報発信、ボランティア活動助成金の募集
6月号	能登半島地震被災地支援、サマーチャレンジ 2024 の案内、事業計画と予算
8月号	能登町災害ボランティア活動報告、茅野市社協事業報告と決算
10月号	中高生等のボランティア体験、赤い羽根共同募金のお願い
12月号	地域サロン活動の紹介、社協会費の報告
2月号	東部中キャリアシンポジウム参加報告、社会福祉大会の報告

(イ) ホームページ等による情報の発信

ホームページを随時更新し、タイムリーな情報提供に努めました。

広報紙「やらざあ」に掲載した記事の掲載をはじめ、社協の活動の紹介等をホームページや Facebook への投稿を行い、福祉活動の積極的な情報発信をしました。

また、いままでのホームページをリニューアルして、令和 7 年 6 月より新しいホームページを公開しました。市民のみなさまに身近で親しまれるホームページになるよう、引き続き、積極的な情報発信に努めて参ります。

また、市民活動センターゆいわーく入口に、社協専用の掲示板を設置しました。ゆいわーくにお越しになられた方に、社協の活動をご覧いただく機会となるよう、ホームページと併せて情報発信をして参ります。

(ウ) 第 61 回茅野市社会福祉大会の開催

社会福祉大会は、茅野市の保健・医療・福祉・教育等の関係機関や団体、一般市民が一堂に集まり、お互いの活動の理解や交流を通じて連携強化を図ることを目的に開催します。

開催日	内 容
11 月 30 日 (土)	テーマ：「ともに生きる豊かな地域社会」の実現を目指して 会 場：マリオローヤル会館 第 1 部：社会福祉貢献者表彰 第 2 部：シンポジウム 「令和 6 年度能登半島地震における災害支援から社協・地域・行政の三者連携を考える」 登壇 原田 正樹氏(日本福祉大学長) 澤武 俊一氏、開上 滉己氏(以上氷見市社協関係) 鈴木 敦子(茅野市社協)、今井 敦会長 参加者：地区関係者・表彰者・理事・評議員・職員 約 100 人

(エ) 表彰関係 (表彰審査委員会)

茅野市社会福祉協議会表彰規程に基づき表彰審査委員会を開催し、表彰者を選考、社会福祉大会において表彰を行いました。

開催日	表彰等対象者
9 月 25 日 (水)	表彰の対象 ・本会の役員又は評議員として通算 8 年以上在籍し、退任した者。ただし、茅野市職員としての役職により選任された者を除く。(第 2 条第 2 号) 1 名
	・地区社協会長として 4 年以上在籍し、退任した者(第 2 号第 4 号) 2 名
	・社会福祉活動が特に優秀な地区社会福祉協議会(第 2 号第 5 号) 1 団体
	・ボランティア活動に貢献し、特にその功績が堅調な者、グループ、団体、学校、社会福祉施設、企業等(第 2 号第 6 号) 4 団体
9 月 25 日 (水)	感謝の対象 ・本会の社会福祉事業のため 10 万円以上相当額の金品を寄附した者(第 3 条第 1 号) 3 団体
	・本会の賛助会員又は特別会員として通算 10 年以上会費を納めた者又は団体(第 3 条第 3 号) 16 名
	・本会の社会福祉事業で功績が特に顕著と認められる者又は団体(第 3 条第 4 号) 2 団体

(2) 小地域福祉活動推進・支援事業

「誰もが心豊かに安心して暮らせる支え合いのまち」を目指して、身近な地域で支え合える地域づくりの推進に取り組みました。また、積極的なアウトリーチを実施し、個人の困りごと等のニーズを把握するとともに地域住民や民生児童委員、福祉推進委員等からの相談に対応し、生活課題等を解決できるよう支援を行いました。

① 小地域福祉活動推進事業

令和 6 年度決算	50,943,688 円	(前年度比 2,842,052 円)
令和 5 年度決算	48,101,636 円	

(ア) 地区社会福祉協議会活動の支援

住民主体による福祉活動を推進していただくために、地区社協活動を各地区コミュニティセンターと協働で支援に取り組みました。

主な活動内容

<ul style="list-style-type: none"> ・第3次地区地域福祉行動計画の推進 ・地区ボランティア活動費、福祉推進委員活動費の助成、サロン活動等への支援 ・福祉推進委員連絡会や研修会の開催 ・戦没者等追悼式の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報紙の発行 ・高齢者等の昼食会や配食、世代間交流活動 ・赤い羽根共同募金活動 ・生活支援体制整備事業への参画 など
---	--

(イ) 福祉推進委員活動の支援

地域における支え合い活動をはじめ、福祉推進委員活動全般について相談に応じ、活動を支援しました。

活動内容

項目	開催日・回数	主な内容
茅野市福祉推進委員研修会	2月9日（日）	会場：茅野市役所8階大ホール 第1部：福祉推進委員の役割ってなに？ ～その背景と必要性について～ 【茅野市健康福祉部 保健福祉サービスセンター】 第2部：地域のみなさんとともに進める地域の「ふくし」 【茅野市社会福祉協議会】 講演：「ゆるやかなつながりで誰も孤立しない地域づくり」 講師：長野県長寿社会開発センター 主任シニア活動推進コーディネーター 戸田 千登美氏 参加者：186人
福祉推進委員連絡会等への支援	38回	各地区における福祉推進委員の活動や課題等の情報交換、講演会、研修会の開催支援
各区・自治会の取り組みへの支援	48回	各区・自治会における定例会議への参加や地域懇談会の開催支援、福祉活動、支え合い活動への相談対応や取組支援

(ウ) 住民の日常生活支援（個別訪問支援活動の実施）

コミュニティソーシャルワーカーが、支援を必要とする人の存在とその課題を早期に発見するため、ひとり暮らしの高齢者世帯等を訪問しました。課題を抱えた人が、必要なサービスを利用しやすくするための援助など、課題解決に向けて取り組みました。

活動内容

項目	件数
個別訪問活動と相談・支援	4,321件
個別の相談・支援に関わる連携	4,392件
地域福祉活動への支援	825件

(エ) 「こんにちは！社協です！」の発送

市内のひとり暮らし高齢者を対象に、孤独感の解消や安否確認、必要とされる情報の提供、ニーズ把握を目的に年4回発送しています。市内の郵便局と連携して取り組むことで、地域の見守りや安全・安心なまちづくりの充実を目指しています。

郵便局員に対象者へのお便りの手渡しと声かけを依頼するとともに、配達時に気になったことや心配なことがあった場合は、地区担当のコミュニティソーシャルワーカーへ情報を伝えていただいています。

発送実績

発 送 月	4 月	7 月	1 0 月	1 月	総 数
発 送 数	446通	453通	459通	443通	1,801通
郵便局員からの情報数	6件	14件	11件	4件	35件

(オ) 茅野市社協「かわら版」の活用と管理

市内郵便局（簡易郵便局を除く10局）に設置された掲示板「かわら版」を活用して、社協情報紙「やらざあ」を掲示し、ボランティア活動や地域福祉活動の情報を発信しました。

(カ) 生活支援体制整備事業

保健福祉サービスセンター、地区コミュニティセンターと協力しながら、住み慣れた地域で高齢者が自立した日常生活を送るためのサービスの検討や高齢者への見守りや支え合い等の活動の支援を行いました。

地域の現状や課題を共有し、今後、地域が目指す姿や地域の支え合いのためにできることなどを話し合う地域懇談会を、諏訪中央病院の医師や専門職をはじめ、区長・自治会長、福祉推進委員、ボランティア等と協力して開催しました。住み慣れた地域で暮らし続けるため、地域の現状を共有しながら、地域の課題や自分たちの地域のこれからなどについて話し合う機会となりました。

主な活動内容

・ 地域懇談会開催への相談、支援
・ 生活支援サービス開発への相談、支援
・ 事業や生活支援コーディネーターの役割の周知
・ 地域における支え合い活動の情報収集と情報発信

② 福祉団体助成事業

令和6年度決算	3,083,044 円	(前年度比 ▲71,847 円)
令和5年度決算	3,154,891 円	

(ア) 福祉団体助成

地域における社会福祉活動を推進するため、茅野市内で地域福祉活動を行う関係団体に対し、助成金を交付しています。令和6年度は、交付要綱に規定する助成対象団体のうち、3団体に交付しました。

助成団体	助成金額
茅野市民生児童委員協議会	100,000 円
茅野市社会を明るくする運動実施委員会	79,850 円
茅野南諏分区保護司会茅野市支部	45,000 円

(イ) 社協会費交付

社協会費実績の20%分と地区団体への助成金分を合わせて、交付金を地区社協へ交付しました。

地 区	交 付 額	地 区	交 付 額
ち の	458,310 円	泉 野	163,802 円
宮 川	361,448 円	金 沢	145,020 円
米 沢	229,720 円	湖 東	221,590 円
豊 平	433,910 円	北 山	273,420 円
玉 川	522,074 円	中大塩	48,900 円
交 付 額 合 計			2,858,194 円

(3) 相談・生活支援事業

市民からの様々な相談に応じて、公的制度では十分に対応することができないニーズに対する支援を実施しました。

① 総合相談事業

令和6年度決算	424,000 円	(前年度比 ▲63,439 円)
令和5年度決算	487,439 円	

(ア) 結婚相談

相談員が結婚を希望される方の相談に応じて、登録者の中から一緒にお相手を探します。

令和5年度から、長野県婚活支援センターが運営する「ながの結婚マッチングシステム」を導入し、お相手探しやマッチングを容易にしました。

- ・開設日時：毎月第1・第3土曜日 午後1時～午後4時
毎月第2・第4金曜日 午後6時30分～午後8時30分
- ・会 場：茅野市ひと・まちプラザ社協相談室
- ・相 談 員：委嘱した結婚相談員 5名

相談実績等

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
登録者数 (新規)	男性	43人 (14人)	38人 (9人)	45人 (15人)
	女性	17人 (7人)	13人 (4人)	15人 (8人)
	合計	60人 (21人)	51人 (13人)	60人 (23人)
相談件数	男性	40件	23件	36件
	女性	15件	15件	18件
	合計	55件	38件	54件
本人来所率		94.5%	100.0%	100.0%
成 婚 数		1件	0件	1件

(イ) 司法書士の法律相談

身近な法律相談窓口として、住民のあらゆる生活問題を受け止め、問題解決につなげていくための、専門的な助言（相続や多重債務に関する助言等）や情報提供を行っています。

- ・開設日時：毎月第2水曜日 午後3時～午後5時 完全予約制（1日3件まで）
- ・会 場：茅野市ひと・まちプラザ社協相談室
- ・相談員：司法書士会茅野地区会（成年後見制度研修修了者4名）

相談件数

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
開設日数		9日	12日	12日
相談件数		22件	31件	30件
対応	解決	14件	21件	23件
	他機関を紹介	2件	2件	1件
	その他	6件	8件	6件

② シャララ・ほっとサービス事業

令和6年度決算	449,114円	(前年度比 ▲4,666円)
令和5年度決算	453,780円	

安心して暮らせるために、ボランティア活動と公的なサービスの中間的な位置付けとして、茅野市社協独自で創設し、実施している住民参加型福祉サービスです。公的な福祉サービスやボランティア活動などで対応できない困りごとに対して、協力会員として登録した市民が手助けの活動をしています。利用を希望する方も会員登録をしていただき、1時間当たり700円～850円の利用料を負担しています。

令和6年度利用実績

	高齢者世帯	障害者(児)のいる世帯	子育て中の世帯
状 況	足腰の悪い方、力仕事が困難な方、認知症、退院後間もない方など	心の病（うつ病、統合失調症等）を持つ方、視覚障害の方、車椅子の方、難病の方、重度障害児を育てる家庭など	ひとり親家庭の家事支援など
援助内容	掃除、買い物、洗濯、話し相手、可燃・不燃・リサイクルごみ出し、薬の受取り、代行手続き、院内介助、散歩介助など	掃除、可燃・不燃ごみ出し、買い物、話し相手、院内介助など	調理など
利用世帯数	20世帯	5世帯	2世帯
利用回数	240回	96回	11回
延べ利用時間	262時間	113時間	18時間

登録状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用会員数（新規）	51人（17人）	57人（6人）	64人（10人）
協力会員数	19人	20人	19人

③ ひとり暮らし安心コール事業

令和6年度決算	174,345円	(前年度比 ▲1,085円)
令和5年度決算	175,430円	

ひとり暮らし高齢者と定期的に電話によるコミュニケーションをとることにより、電話をした時点での利用者の安否確認、健康状態及び生活状況の確認をするとともに、孤独感の解消を図り、情報をキャッチする場となり、もって利用者の在宅生活の向上を図ることを目的として実施しました。

- ・事業内容：最大週2回利用者の希望する曜日の時間に協力員より電話をかけます。
- ・協力員：8名（令和7年3月31日現在）
- ・対象者：おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者

利用実績等

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
登録者数	17人	18人	17人

令和6年度通話実績（不在回数除く）

(回)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
回数	79	81	81	82	79	73	75	70	66	68	53	53	860

④ 一般介護予防通所事業（塩つぼの湯デイサービス）

令和6年度決算	20,246,736円	(前年度比 598,959円)
令和5年度決算	19,647,777円	

要介護状態等になるおそれの高い高齢者が要介護状態になるのを予防することを目的に高齢者福祉センター塩つぼの湯において通所型の介護予防事業を行っています。送迎・昼食・相談・運動や脳トレ、レクリエーション等の介護予防メニュー、看護師による運動機能評価や個別指導を実施しています。

- ・実施日：毎週火・水・木・金・土（祝日及び年末年始は除く）
- ・利用時間：午前9時30分～午後2時30分

利用状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
延利用者数	2,133人	2,333人	2,037人

令和6年度利用状況

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
登録者数	53	51	50	50	51	50	50	49	46	45	44	44	
延利用者数	188	180	195	191	163	166	187	176	163	134	140	154	2,037

⑤ 外出支援事業（移送サービス）

令和6年度決算	6,120,422円	(前年度比 ▲239,949円)
令和5年度決算	6,360,371円	

一般の交通機関を利用して外出することが困難な市民の生活圏の拡大と社会参加を支援するために、福祉車両4台で送迎サービスを実施しています。

運行協力員12名とタクシー業者2社により実施しました。

また、安全に運行するため、運行協力員は運転者講習会に参加しています。(10月22日、25日 参加者:11名)

利用実績等

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
登録者数	33人	43人	38人
新規利用者数	7人	15人	5人
延利用者数	2,670人	2,701人	2,338人

令和6年度利用状況

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延利用者数	230	245	222	221	215	193	194	169	154	157	167	171	2,338

⑥ 配食サービス事業 (おたっしや弁当)

令和6年度決算	19,681,494円	(前年度比 3,462,749円)
令和5年度決算	16,218,745円	

高齢者や障害のある方などに栄養のバランスのとれた食事を提供するとともに、配達員による見守り活動としても有効に機能しています。

- ・ 弁当代：600円 (内個人負担350円)、おかずのみ：540円 (内個人負担300円)
- ・ 委託業者：信州配食サービス

利用実績等

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
延利用者数	2,901人	2,808人	3,088人
新規利用者数	56人	149人	146人
延配食数 (おかずのみ)	60,241食 (29,697食)	59,706食 (31,421食)	64,675食 (34,223食)

令和6年度利用状況

利用者(対象者)数	人数		
	昼	夕	合計
65歳以上の独り暮らしの方	645人	644人	1,289人
高齢者のみの世帯で、食事づくりが困難な方	386人	430人	816人
ひとり暮らしの障害者	82人	176人	258人
寝たきりの人がいる2人世帯	0人	0人	0人
その他 ①障害以外を理由とする方	257人	211人	468人
③ 障害を理由とする方	97人	160人	257人
合計	1,467人	1,621人	3,088人

対象者別の状況

対 象	利用時間	食 数	合計
障害者	昼	3,619 食	10,382 食
	夜	6,763 食	
高齢者	昼	26,740 食	54,293 食
	夜	27,553 食	

(4) 権利擁護事業

① 日常生活自立支援事業

令和6年度決算	2,859,150 円	(前年度比 363,944 円)
令和5年度決算	2,495,206 円	

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など判断能力が不十分な方に対して、住み慣れた地域の中で生活ができるように、福祉サービスを利用するときの手続きや利用料の支払いのお手伝い、または日常生活に必要な預貯金の出し入れや書類等の預かりを支援します。長野県社協が事業の実施主体となり、茅野市社協は原村を管轄する基幹的社協に位置付けられています。

茅野市社協では、担当職員(専門員)のほか、生活支援員2名を配置しています。生活支援員は専門員の指示を受けて実務を行う等、専門員の補助的な業務を行っています。

利用実績等

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用援助回数	737件	569件	634件
契約件数 (※)	26件	20件	19件
	茅野市	18件	17件
	原 村	2件	2件
新規契約件数	1件	3件	4件
解約数	10件	9件	5件

※契約件数は、各年度3月31日現在の件数

※原村については、協力社協として原村社協職員と連携して対応しています。

② 法人後見事業

令和6年度決算	930,000 円	(前年度比 90,000 円)
令和5年度決算	840,000 円	

茅野市社協が成年後見人、保佐人もしくは補助人になり、判断能力が不十分な人の成年後見制度に基づく後見事務(財産管理や身上監護)を行い、高齢者や障害者の権利擁護支援を実施しました。

利用実績

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
法人後見件数	6件	5件	6件
うち新規受任件数	0件	0件	2件
うち後見終了件数	1件	0件	1件
後見活動内容	日常生活に係る金銭管理、入院時の日用雑貨購入等に伴う金銭管理、施設入所契約 ほか		

③ 茅野市・原村成年後見支援センター

令和6年度決算	8,065,000円	(前年度比 252,000円)
令和5年度決算	7,813,000円	

判断能力が十分でない知的障害者及び精神障害者（認知症高齢者を含む）が住み慣れた地域で安心して生活を維持できるよう、成年後見制度の普及・啓発、相談、その他、円滑な制度利用のための支援等を行っています。

国の第二期成年後見制度利用促進基本計画において、優先して取り組む事項の1つとして、任意後見制度の利用促進があります。任意後見制度はあらかじめご本人自らが選んだ人に代わりにしてもらいたいことを契約で決めておく制度です。認知症等で判断能力が低下したときでも、尊厳のある本人らしい生活を継続することができるため、任意後見制度の普及と利用促進を目的に講演会を実施しました。

利用実績

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談件数	98件	83件	71件
新規	25件	50件	34件
継続	73件	33件	37件
審判申立支援件数	8件	7件	4件
審判確定	4件	0件	2件
継続相談	4件	7件	2件
後見人候補者調整件数 (法定後見選任)	3件 (3件)	2件 (0件)	3件 (3件)

主催講演会 『任意後見制度講演会』

開催日	講演内容
令和7年2月11日 (祝・火)	会場：茅野市ひと・まちプラザ3階 集会室 第一部：任意後見制度について 講師：諏訪公証役場 公証人 岡田治彦氏 第二部：成年後見制度の基礎 ～任意後見制度～ 講師：長野県社会福祉協議会 佐藤公治氏 参加者：31名

関係者会議・研修等

会議・研修	開催日・回数
茅野市・原村成年後見支援センター連絡会	2/21
諏訪圏域成年後見制度利用促進体制整備の推進に係る関係者会議	6/28・9/26・1/24
諏訪圏域成年後見支援センター連絡会	14回
諏訪圏域成年後見スキルアップ研修	6/28・9/12・12/6

(5) 生活困窮者支援事業

社会情勢が変化する中、就労収入の減少による生活費や転宅費の貸付相談等が寄せられました。令和6年度からは、新型コロナウイルス感染症拡大に対する緊急小口等特例貸付後のフォローアップ支援がはじまり、借受人を含む生活困窮者世帯の生活再建に向けた支援に取り組んでいます。

① 生活福祉資金貸付事業

令和6年度決算	682,600円	(前年度比 33,400円)
令和5年度決算	649,200円	

低所得者、障害者世帯、高齢者世帯を対象に生活福祉資金の貸付を行い、世帯の自立を支援しました。

長野県社会福祉協議会、または茅野市社会福祉課に設置されている「まいさぼ茅野市」の相談員と連携し、対象者にとって適切な貸付であること、無理のない返済計画であることなどを検討しながら、借受人の家計改善に努めました。

また、支援機関との連絡会に出席し、職員のスキルアップや支援体制の充実に努めました。

貸付実績

資金名	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	件数	金額(元金)	件数	金額(元金)	件数	金額(元金)
総合支援資金	3件	254,000円	0件	0円	1件	713,180円
福祉費	2件	2,550,000円	2件	277,830円	0件	0円
緊急小口資金	3件	254,000円	8件	800,000円	2件	140,000円
教育支援資金	1件	907,000円	1件	444,000円	0件	0円
合計	9件	3,965,000円	11件	1,521,830円	3件	853,180円

② 暮らしのつなぎ資金貸付事業

令和6年度決算	118,000円	(前年度比 118,000円)
令和5年度決算	0円	

市内の要保護世帯及び母子世帯等に対し、一時的な生活のつなぎ資金を必要とする場合に短期の無利子融資を行い自立を支援しています。

・貸付限度額：40,000円 ・返済期間：6ヶ月以内

貸付実績

資金名	令和4年度貸付		令和5年度貸付		令和6年度貸付	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
暮らしのつなぎ資金	1件	40,000円	0件	0円	0件	0円

③ 生活困窮者自立支援事業

令和6年度決算	10,066,994円	(前年度比 ▲1,587,673円)
令和5年度決算	11,654,667円	

生活困窮者自立支援法に基づき茅野市社会福祉課に設置している「まいさぼ茅野市」に2名の職員が出向し、生活困窮者の相談支援業務に従事しています。

また、家計改善事業を茅野市から受託し、家計に課題を抱える対象者の相談支援の実施、長野県社協が実施する『あんしん創造ねっと』に加入し、各種事業の利用により既存の制度やサービスでは対応できない個別課題に対する支援を実施しました。

家計改善支援事業実績

年 度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
支援世帯数	9世帯	16世帯	13世帯

あんしん創造ねっと利用実績

事業	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入居保証・生活支援事業	5件	3件	1件
身元保証・就労支援事業	0件	0件	0件
医療受診支援事業	1件	0件	1件
買い物等同行支援事業	0件	0件	0件
地域住民との協働活動支援事業	0件	0件	0件

④ 特例貸付相談体制強化事業

令和6年度決算	4,013,000円	(前年度比 4,013,000円)
令和5年度決算	0円	

長野県社協の『緊急小口資金等特例貸付実施後の相談支援体制強化事業』補助金を活用し、新型コロナウイルス感染症拡大に対する緊急小口等特例貸付後、償還困難になっている世帯や償還免除になっている世帯等のフォローアップ支援・生活再建に向けた支援を多機関と連携して進めています。

令和6年度は、「くらし応援ネットワーク」1名を配置しました。緊急小口貸付等の借受人のうち、令和5年1月から償還が始まっている緊急小口の借受人と償還免除者にアンケートを実施して生活状況を把握するとともに、相談会等を通じて相談支援を実施しました。

令和6年度 貸付種別（緊急小口資金・総合支援資金初回貸付・延長貸付・再貸付）償還状況

	令和6年4月1日	令和7年3月31日
償還完了	10人	77人
未償還	319人	211人
償還免除者	206人	237人
償還猶予	6人	16人

令和6年度 特例貸付借受人生活状況アンケート（8/15、9/10、R7/2/5発送）結果

送付数	267 件
宛所不明	27 件
回答数（郵送・架電）	124 件
回答率	46.4%
相談会参加者数	11 件

⑤ 『一握りのお米 支援米』への取組

失業や収入の減少、倒産などの様々な事情により生活に困窮する世帯に配分するため、お米の一部を備蓄しています。

- ・取組期間：10月1日から12月25日まで
- ・支援米：422.8kg（65%減（前年度1,201kg））
- ・ご協力いただいた方々：1団体、22個人
- ・送付先：市内の生活困窮世帯（社協備蓄分）、子ども食堂等を運営する支援団体

⑥ フードドライブへの取組

家庭で使いきれない未使用食品（缶詰、レトルト食品、乾物、調味料、菓子等）などを社協へ寄付いただきました。寄付いただきました食品は、市内の生活に困窮する世帯、まいさぼ茅野市へ配布しています。

フードドライブ実績

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
個人	35人	43人	21人
団体・企業等	7団体	7団体	11団体
寄附品数	563品	745品	775品

(6) ボランティア・市民活動推進事業

① 茅野市社協ボランティアまちづくりセンター事業

令和6年度決算	1,185,871円	(前年度比 ▲125,941円)
令和5年度決算	1,311,812円	

「地域を育む」という意識を持って、誰もがお互いに支え合える地域づくりを推進していくため、ボランティア・まちづくりの推進、福祉教育の推進に向けた取組を行いました。

「ふくし」を我が事として考えるきっかけづくりとして、学校や地域における福祉教育を実施するとともに、ボランティア活動者や団体からの悩みや相談に応じながら、活動状況を把握し、活動の継続や活性化への支援に取り組みました。また、令和6年能登半島地震や能登豪雨災害の被災地の日も早い復旧・復興に寄与するため、本会職員が災害ボランティアセンターの運営支援にあたりるとともに、市民から災害ボランティアを募り、被災地へ派遣しました。

(ア) 福祉教育の推進

② 出前福祉教室

高齢者や障害のある方との交流や、車いすや疑似体験、ガイドヘルプ体験等を通して、児童や生徒、先生方と一緒に『ともに生きること・ともに学びあうこと』を考えていただくことを目的に、市内の小学校・中学校・高等学校で出前福祉教室を実施しました。

開催実績

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
開催数	29回	50回	51回
開催学校数	7校	11校	12校
延参加者数	725人	1,210人	1,498人

⑥ 親子でふくし「聴覚障害者協会のみなさんとボッチャを楽しもう」

社協と関わりの少ない世代や出前福祉教室未実施校の生徒にも、福祉に触れてもらう機会をつくることを目的に、親子で参加する福祉教室を実施しました。

実施日	内容
8月25日(日)	聴覚障害の方と手話体験やボッチャを通じた交流 会 場：茅野市ひと・まちプラザ3階集会室 参加者：聴覚障害者協会、手話サークル親子等 17人

(イ) 社会福祉普及校指定事業

小学校・中学校・高等学校を『社会福祉普及校』として指定し、児童・生徒の社会福祉への理解と関心を高め、他人に対する思いやりの心や主体性を育てるとともに、児童・生徒を通じて家庭及び地域社会への啓発を図ることを目的として、各校に30,000円の補助金を交付しました。

令和6年度 各校の活動内容

学校名	活 動 内 容
永明小学校	・交流を楽しもう (聴覚障害の方とボッチャで交流しよう)
宮川小学校	・赤い羽根共同募金 ・児童会行事「なかよしオリンピック」
米沢小学校	・特別支援学級 自立活動交流 (迷路遊び) ・特別支援学級 よねりん福祉バザー ・副学籍児童との交流 ・出前福祉教室
豊平小学校	・赤い羽根共同募金 ・ケアホーム豊平訪問 ・出前福祉講座 ・障がい者体験
玉川小学校	・保育園との交流 ・梅林管理ボランティアの皆さんとの交流 ・福祉体験学習「ボッチャ」から学ぼう

泉野小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 赤い羽根共同募金活動 ・ 書き損じはがき収集 ・ 地域に住む障がいのある方との交流・学習・感謝の気持ちを表す ・ なかよし週間における友達が笑顔になるメッセージの掲示
金沢小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出前福祉教室（１・４・６年） ・ 児童会祭り(全校で交流) ・ みんなで花を育てよう ・ 性に関する指導(６年)
湖東小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出前福祉教室「認め合う」(１～６年生各学年対象)
北山小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出前福祉教室「福祉週間」(１～６年生対象) ・ 参観日に実施した販売活動(特別支援学級在籍児童対象) ・ お世話になった先生方へのプレゼント作り(特別支援学級在籍児童対象) ・ お世話になった先生との交流(特別支援学級在籍児童対象)
永明中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者疑似体験
長峰中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域、校地奉仕活動及び花壇づくり
北部中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車いすバスケットに挑戦 ・ 特別支援学級交流会
東部中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東中たより（石巻市との交流事業） ・ 七夕飾りを届けよう（東部中学校区保育園との交流事業） ・ 一人暮らしの高齢者へのお便り（ぬくもりレター） ・ 福祉体験
茅野高校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 茅野高校やすらぎ喫茶
小学校 9 校、中学校 4 校、高等学校 1 校 合 計 1 4 校 参加者総数 4, 2 6 7 人	

(ウ)夏のボランティア体験「サマーチャレンジ2024」

ボランティアへの正しい理解と関心を深め、今後の活動へのステップにすることを目的に、夏休みを利用して市内の福祉施設等でボランティア体験を実施しています。

令和6年7月24日（水）から8月22日（木）までの約1ヶ月間実施し、小学校5年生から大学生まで67名の方が、ボランティア活動を体験することができました。

開催実績等

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
参加者数※	71 人	94 人	67 人
小学生	3 人	2 人	1 人
中学生	44 人	58 人	39 人
高校生	18 人	30 人	25 人
大学生等	6 人	4 人	2 人
協力施設数	30 施設	37 施設	35 施設

※4年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、一部を除き中止のため申込者数を記載

(エ) 清拭布裁断ボランティア（ちょきちょきボランティア）

令和6年度、新たに市民や本会法人会員の企業等からご寄附いただいたタオルやシーツなどの布を清拭布にするために、裁断するボランティアを募集し、未就学児から80代の方まで幅広い年齢層の方が参加し実施しました。

裁断した清拭布は、市内10ヶ所の本会法人会員の福祉施設に寄贈しました。

今後も定期的実施し、ボランティアに興味、関心を持っていただけるよう事業の展開を図っていきます。

実施日	会場	参加人数	裁断清拭布
12月15日（日）	茅野市ひと・まちプラザ 101・102 会議室	22 人	約 2,300 枚 (約 47 kg)
3月23日（日）	茅野市ひと・まちプラザ 3階集会室	21 人	約 2,100 枚 (約 36 kg)

(オ) ボランティア活動支援

地区（区・自治会）では、“閉じこもり”や“孤独”を防ぎ、「寝たきり予防・認知症予防」につながるといわれている『いきいきサロン活動』をはじめ、様々なボランティア活動が行われています。高齢化による会員の減少等の課題もある中、高齢者の自宅を訪問し、お弁当などを届けながら住民同士が交流する宅配事業など、自分たちでできる活動を行っています。

地区のボランティアの会が主催する会議やサロン、宅配事業等に参加し、活動の把握と活動継続や活性化への支援、ボランティア活動者との関係づくりに取り組みました。

活動実績

(回)

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	地区	区 自治会	地区	区 自治会	地区	区 自治会
総会・役員会等の開催	21	3	13	5	13	2
いきいきサロンの開催	0	9	4	16	2	26
宅配（配食）弁当・菓子配布	2	14	5	15	2	15
研修・学習会の開催	2	0	2	0	1	2
世代間交流会の開催	0	0	0	2	0	1

(カ) ボランティア・市民活動助成金の交付

茅野市内における地域福祉の向上を目指し、継続的に福祉活動を行う地域住民及び民間団体の自主的で自発的なボランティア活動を育成及び支援することを目的として、ボランティアグループの活動に対し、必要な資金の助成（上限40,000円）を行いました。

交付実績

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
申請団体数	20 団体	18 団体	22 団体
交付決定額	702,600 円	659,906 円	810,000 円

(キ) ボランティア活動相談・コーディネート

市民やボランティア・市民活動団体などからの相談に対応し、情報提供や助言、ゆいわーく茅野など関係機関へのコーディネートを行いました。

相談実績

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談件数	40件	38件	40件

備品の貸出し件数（団体数）

備品名	貸出件数
福祉教室用福祉用具（高齢者疑似体験セット・アイマスク・点字器セットなど）	29件
車いす	65件

(ク) ボランティア保険加入、保険請求事務

ボランティア活動者が安心して活動に取り組めるよう、ボランティア保険の加入促進を図りました。

ボランティア保険加入・保険請求の状況

	件数	人数
保険加入	189件	6,225人
保険請求（保険金給付）	0件（0件）	—

(ケ) 令和6年能登半島地震・豪雨災害に伴う被災地への災害ボランティア派遣

市民から災害ボランティアを募り、能登半島地震や能登豪雨災害の被災地へ派遣しました。

支援期間	災害ボランティア活動場所・内容	派遣人数
4月11日(木) ～4月12日(金)	石川県能登町災害ボランティアセンター 「能都サテライト」 活動場所：石川県能登町宇出津地区内 活動内容：家財の搬出、災害廃棄物仮置き場への運搬	茅野市民等 10人
6月13日(木) ～6月14日(金)	石川県能登町災害ボランティアセンター 「柳田サテライト」 活動場所：石川県能登町柳田地区内 活動内容：屋根瓦、土壁の撤去、搬出 災害廃棄物仮置き場への運搬	茅野市民等 6人
10月31日(木) ～11月2日(土)	石川県輪島市町野町 NGO 結ボランティアセンター 「町野町サテライト」 活動場所：石川県輪島市町野町地区内 活動内容：泥だし、土砂の撤去、搬出 災害廃棄物の運び出し	茅野市民等 6人

(コ) 令和6年能登半島地震に係る災害ボランティアセンター運営支援のための職員派遣

① 関東甲信越静Bブロックによる災害ボランティアセンター運営支援のための応援職員派遣

支援期間	災害ボランティアセンター	派遣人数
5月31日(金) ～6月6日(木)	石川県能登町災害ボランティアセンター (能登町社会福祉協議会)	職員1人
11月16日(土) ～11月22日(金)	石川県珠洲市災害ボランティアセンター (珠洲市社会福祉協議会)	職員1人

⑥長野県内社協 DSAT による災害ボランティアセンター運営支援のためのチーム員派遣

支援機関	災害ボランティアセンター	派遣人数
11月14日(木) ～11月17日(日)	石川県能登町災害ボランティアセンター (能登町社会福祉協議会)	職員1人

(サ) 令和6年能登半島地震に係る災害ボランティア活動参加者との意見交換会

令和6年能登半島地震の災害ボランティア活動を振り返り、今後の茅野市での災害支援を考えること、また、災害ボランティア参加者との継続したつながりを持つことを目的に、活動参加者との意見交換会を実施しました。

実施日	内容
9月6日(金)	災害ボランティア活動参加者との意見交換 会 場：茅野市ひと・まちプラザ 101・102 参加者：富山県氷見市・石川県能登町災害ボランティア参加者、災害ボランティアセンター運営支援派遣職員等 19人

(シ) どっこいしょ広場の運営管理

市民が自由に集える場所として、平成14年3月にベルビア1階に開設されたどっこいしょ広場を、気持ち良く使っていただくため、運営管理を行っています。令和5年度からは、「ボランティアグループどっこいしょ」が年間を通して月1回の活動を続けています。また、掲示板やカタログスタンドを活用して、ボランティア活動・市民活動の情報発信が行われています。

(7) 共同募金配分事業

令和6年度決算	4,628,474円	(前年度比 608,266円)
令和5年度決算	4,020,208円	

赤い羽根共同募金運動の募金実績により、地域助成として長野県共同募金会から茅野市社協に交付された配分金を、地域の福祉活動に還元(配分)しています。

配分実績

配分先	令和4年度	令和5年度	令和6年度
茅野市社会福祉協議会	1,071,400円	986,094円	1,453,408円
小学校・中学校・高等学校の福祉普及活動	420,000円	420,000円	420,000円
地区社会福祉協議会(10地区)	2,073,774円	1,954,208円	1,945,066円
市内ボランティアグループ	702,600円	659,906円	810,000円
災害援護金	35,000円	0円	0円
合計	4,302,774円	4,020,208円	4,628,474円

2 居宅介護等事業

(1) 居宅介護支援事業

令和6年度決算	10,855,788円	(前年度比 2,740,720円)
令和5年度決算	8,115,068円	

介護支援専門員が依頼を受け、利用者に応じた適切な「居宅介護サービス計画書」を作成し、計画に基づいたサービスが提供されるようサービス提供事業者等と連携を図り、利用者が安心して在宅での生活を送れるよう支援しました。

居宅介護支援実績

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
居宅介護支援	858件	551件	824件
介護予防支援	108件	15件	0件
合計	966件	566件	824件

月別状況

(件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
居宅介護	66	72	70	71	66	70	70	67	70	68	64	70	824
介護予防	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	66	72	70	71	66	70	70	67	70	68	64	70	824

(2) 訪問介護事業

令和6年度決算	41,619,378円	(前年度比 5,197,837円)
令和5年度決算	36,421,541円	

訪問介護事業所のホームヘルパーが、高齢者及び障害者宅を訪問し、「訪問介護計画書」に沿って安心して在宅生活を送れるよう身体介護・生活援助の介護サービスを提供しました。

介護保険（訪問介護）実績

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
要介護	実人数	47人	47人	70人
	延利用者数	6,827人	7,365人	7,505人
要支援	実人数	23人	25人	28人
	延利用者数	1,451人	1,697人	1,726人

※実人数は各年度の各月の平均人数（小数点以下四捨五入）

月別状況

(人)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
要介護	実人数	52	52	54	54	54	54	58	54	55	54	50	49	7,505
	延利用	632	676	618	697	699	661	637	600	590	575	546	574	
要支援	実人数	24	23	25	24	25	25	26	28	26	25	25	24	1,726
	延利用	143	141	129	153	145	141	163	147	148	145	132	139	

障害者サービス実績（延利用者数）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
居宅介護	164人	148人	117人
同行援護	14人	19人	16人
移動支援	0人	0人	0人

(3) 西部デイサービス事業

令和6年度決算	61,340,789円	(前年度比 9,322,774円)
令和5年度決算	52,018,015円	

西部デイサービスセンターにおいて、「通所介護計画書」に沿った入浴、排泄、食事の介助、機能訓練その他必要な介護サービスを提供しました。

西部デイサービスセンター利用実績

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
要介護	実人数	49人	43人	60人
	延利用者数	4,227人	4,194人	3,965人
要支援	実人数	8人	8人	9人
	延利用者数	499人	459人	505人

※実人数は各年度の各月の平均人数（小数点以下四捨五入）

月別状況

(人)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
要介護	実人数	42	41	45	45	42	39	38	43	42	45	39	46	3,965
	延利用	334	369	339	383	326	311	347	311	294	279	330	342	
要支援	実人数	6	4	7	6	7	7	10	10	9	9	9	9	505
	延利用	26	28	26	32	36	36	50	55	52	54	54	56	

主な行事

4月	お花見会	9月	敬老会	12月	忘年会
7月	納涼会	10月	紅葉見学		

3 障害福祉サービス事業

(1) 障害者相談支援事業

令和6年度決算	3,792,560円	(前年度比 1,062,440円)
令和5年度決算	2,730,120円	

諏訪圏域にお住いの障害者・障害児やその家族、市町村、病院等から障害福祉サービスの利用について相談を受けています。また、障害福祉サービスを利用される方には、その方のニーズに合った利用計画を作成します。必要な障害福祉サービスを利用できるように、ご本人や関係者が一堂に会しサービス調整会議を行い、利用開始後は数か月に1度、モニタリング会議を行って障害福祉サービス利用の振り返りを行います。

相談支援実績

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談契約者数	48人	60人	56人
障害者	40人	45人	46人
障害児	8人	15人	10人
計画作成・モニタリング件数	128件	163件	213件

(2) 就労継続支援B型事業(あすなろセンター)

令和6年度決算	36,777,990円	(前年度比 4,032,362円)
令和5年度決算	32,745,628円	

あすなろセンターにおいて、障害のある方で雇用契約に基づく就労が困難である方に就労の場として様々な作業を提供しています。また、社会生活の場を広げ、地域の方との交流や季節に合わせた余暇活動など提供しています。さまざまな活動を通して仲間との関わりや交流を深め、生活習慣の改善や心身向上等身体機能の保持を目指した活動を行いました。

安定した施設の運営のため給付金収入を確保するには、前年度の利用者の月額工賃を維持または増額となるように努めることも大切ですが、ご家族支援や他のサービスを併用する必要もあり、1日当たりの通所者数が減少しない工夫が求められます。

利用実績(定員20名)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
登録者数	20人	16人	17人
延利用者数	216人	197人	199人

※登録者数は各年度の3月31日現在の人員数

主な作業内容

<ul style="list-style-type: none"> ・ボカン製造・販売 ・ゴム製品検品 ・薪の箱詰め ・にんにくの皮むき作業 ・精密組み立て作業 ・寒天袋詰め作業 	<ul style="list-style-type: none"> ・諏訪合同庁舎清掃 ・上古田区公民館清掃作業 ・赤い羽根作業 ・介護お役立ちガイドブック印刷・製本 ・タオルたたみ作業 ・味噌カップラベル貼り
--	--

就労支援事業の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
取引業者数		14 事業者	13 事業者	14 事業者
事業収支	総収入額	3,469,809 円	2,611,982 円	2,692,148 円
	必要経費	875,172 円	159,718 円	274,748 円
	実質収入額	2,594,637 円	2,452,264 円	2,417,400 円
平均工賃 (月額)		12,012 円	14,291 円	11,850 円

主な行事

5月	昼食会	12月	クリスマス会
7月	納涼祭・昼食会	1月	お正月遊び
10月	ミニ運動会	3月	昼食会
11月	避難訓練		

(3) 日中一時支援事業

令和6年度決算	83,504 円 (前年度比 7,003 円)
令和5年度決算	76,501 円

一時的に見守り等の支援が必要な障害者等の日中における活動の場を確保し、障害者等の家族の就労支援及び障害者等を日常的に介護しているご家族の一時的な休息を目的に令和4年6月から事業を開始しました。

事業に携わる支援員を地域の方をお願いすることで、あすなろセンターと地域を結びつけながら事業を展開しました。

利用実績

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実人数	4人	4人	5人
延利用者数	58人	283人	280人

4 その他事業

(1) 赤い羽根共同募金

長野県共同募金会茅野市共同募金委員会の事務局として、赤い羽根共同募金運動全般のとりまとめを行いました。

① 茅野市共同募金委員会の運営

(ア) 運営委員会の開催

開催日	出席者数	主な内容	備考
5月30日(木)	31人	・令和5年度事業報告・決算 ・運営委員の選任	
9月10日(火)	31人	・令和6年度赤い羽根・歳末助け合い募金の要領について ・令和6年度運営委員会補正予算について	
3月7日(金)	32人	・令和7年度事業計画・予算 ・運営委員の選任	

(イ) 定例監査の実施

5月23日(木)	令和5年度の事業報告及び決算について
----------	--------------------

(ウ) 高額募金・永年募金者の表彰

高額募金	1名、1団体
永年募金	対象なし

② 赤い羽根・歳末助け合い募金運動

・募金期間：10月1日～12月31日

募金実績

令和4年度	令和5年度	令和6年度
7,725,208円	7,442,066円	7,359,256円

③ 災害援護金の交付

市内で発生した火災・風水害等で住家が半焼、半壊、床上浸水以上の被害を受けた世帯に、お見舞いとして災害援護金を交付しました。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
交付件数	4件	0件	0件
災害援護金総額	35,000円	0円	0円

④ 地区社会福祉協議会への配分

地区	配分額	地区	配分額
ちの	161,660円	泉野	108,087円

宮川	478,334円	金沢	177,651円
米沢	90,426円	湖東	259,338円
豊平	260,166円	北山	144,007円
玉川	193,210円	中大塩	72,187円
配分額合計			1,945,066円

(2) 諏訪ブロック社会福祉協議会

岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村の社会福祉協議会の相互連携による社会福祉の健全な発展、社会福祉活動の活性化、地域福祉の推進、役職員の資質の向上のため、諏訪ブロック社協を組織し、ブロック単位での事業を計画・実施しています。各年度持ち回りにより各市町村社協が事務局を担っています。

活動内容

開催日	会議等	内容
7月8日(月)	事務局長・次長会議	・令和5年度事業報告・決算 ・令和6年度事業計画・予算
7月25日(木)	ボランティア・地域福祉関係担当者会議	・サマーチャレンジについて ・ボランティア・交流研究集会について
8月8日(木)	総会	・令和5年度事業報告・決算 ・令和6年度事業計画・予算 ・諏訪保健福祉事務所・県社協からの連絡
9月12日(木)	事務局長・次長会議	・県社協との情報交換 ・役職員合同研修会について
9月30日(月)	ボランティア・地域福祉関係担当者会議	・ボランティア・交流研究集会について ・サマーチャレンジ実施状況(オンライン開催)
10月6日(日)	ボランティア・交流研究集会	・講演会とトークフォークダンスによる交流
1月16日(木)	ボランティア・地域福祉関係担当者会議	・ボランティア・交流研究集会の振り返り ・情報交換
1月23日(木)	役職員合同研修会	・講演会
事務局当番 R6年度：諏訪市、R7年度：岡谷市、R8年度：下諏訪町、 R9年度：富士見町、R10年度：茅野市		